

未来を良くしようと、沖縄にはこんな活動があるよ  
 あなたも持続可能な社会の担い手



コラム

Q ゆう めい  
 有名な「17ゴール」って？



達成したい目標を、大きく17の分野に分けたもの。各ゴールにはさらに細かい目標（ターゲット）があるよ。あなたが気になる課題には、どのゴールやターゲットが関係しているかな。自分たちの「18番目のゴール」を考えてみていいね。

Q 2030年までの目標を定めているけど、今はどのくらいできているの？

毎年、国別で17ゴールの達成度が公表されているよ。2021年の報告で日本は教育（ゴール4）や産業（9）は順調だけど、ジェンダー平等（5）や気候変動対策（13）はとても遅れている。世界では、新型コロナウイルス感染症の大流行で飢餓や貧困は悪化し、地球温暖化も抑えられていない。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT REPORT 2021 日本  
 詳しくはココと各URLをクリック  
<https://dashboards.sdgindex.org/rankings> <https://sdgs.media/blog/4130/>



P 人間 People  
 おきなわ けん こ みらい せい さく か  
**沖縄県子ども未来政策課**  
 じつ たい ちよう さ かい ぜん けい かく  
**実態調査し改善計画**

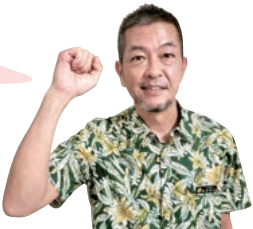
沖縄県で解決しなければならない大きな問題の一つが「子どもの貧困問題」です。子ども全員が安心して遊んだり学んだりして成長することは、1人の人間として、社会として、とても大切なことです。

沖縄県は2015年、大規模な実態調査を行い、県内では3人に1人の子どもが厳しい経済状況にあることがわかりました。食べ物が十分に買えない子、お金がなくて塾や習い事に行けない子もたくさんいることがわかりました。この調査を元に県では2016年に「県子どもの貧困対策計画」を作って改善を目指しています。企業などに寄付してもらった食料を子ども食堂に配る活動もしています。

放課後児童クラブの利用料が下がって利用しやすくなった、生活保護を受ける家庭の子どもの大学などへの進学率が上がるなど成果が出ている一方、高校中退をする人はまだ多く、虫歯を治療しない小学生の割合が減らないなど課題もあります。

これらの計画の元になる実態調査は毎年行われており、全国でも沖縄だけの優れた取り組みとして注目されています。

2022年、新しい子どもの貧困対策計画が始まります。子どもの年齢に応じた支援体制を作り、お金以外の困りごとにも対応しようと計画しています。どんな計画があればいいか、皆さんも考えてみてくださいね。



なむら たかゆき ちようさ  
 仲村卓之課長





**P** はん えい  
**繁栄**  
 Prosperity

かね ひで  
**金秀グループ**

じょ せい かつ やく すう ち もく ひょう  
**女性活躍へ数値目標**

スーパーなど小売業や建設業を営む金秀グループは2019年、県内企業ではいち早くSDGs参画宣言を出しました。SDGsに取り組むことが、持続可能な社会をつくり、企業の未来にとっても大切だと考えているからです。

特に、多様な人たちが力を発揮できるように、管理職や役員に就く女性割合の数値目標を立てています。役員たちが参加する「女性力推進委員会」では、女性・男性、両方の視点で実現するための方策を練っています。県内、全国でも珍しい取り組みです。

金秀グループが女性活躍を進めるのは、男性だけではなく女性の視点を入れることが商品開発や企業経営に役立つから。また女性が働きやすい職場は誰にとっても働きやすい職場につながります。生き生きと活躍している女性社長にあこがれる女性社員も多く「自分も頑張ろう」と励みになっていくといいます。

自社だけでなく県全体にもSDGsを広めて住みやすい地球・社会をみんなでつくろうと、学校への出前講座もしています。2021年度は西原町の坂田小、西原中のほか読谷高に出向き「楽しく学べた」と喜ばれました。



きんじょうもも こ  
 金城桃子さん



**P** ちぎゅう  
**地球**  
 Planet

ほう じん びょう いん  
**NPO法人どうぶつたちの病院**

きょうしゅう ほご  
**ヤンバルクイナなど希少種保護**

沖縄には世界中でここにしかない野生生物がたくさんいます。約20年前、やんばるの森ではヤンバルクイナが、マングースや森に捨てられた犬や猫に食べられたり交通事故にあたりして絶滅の危機にありました。絶滅させないために獣医師たちが立ち上がり、多くの市民や企業も寄付をして救急救命施設を作り、救護活動を始めました。現在までに約60羽のヤンバルクイナを野生に帰し、飼育下での繁殖にも成功しました。

西表島では、イリオモテヤマネコを感染症から守るため、ネコを正しく飼うためのルールを行政と一緒に作り、ノラネコの保護収容、飼いネコの不妊化手術や予防接種をしています。

今後は、人間の活動が原因で傷ついた動物を治療するだけでなく、外来種の侵入や交通事故を未然に防ぐこと、野生動物が安心して生きられる環境を作っていくことが重要だと考えています。

沖縄の生物多様性は私たちの大切な誇りで財産です。守っていくには、特別な誰かではなく、みんなが知恵を出し合ってどうするかを決めていくことが大切です。違う分野や立場の人と話すとき新しい気付きや発想がありますよ。



ながみねたかしり じちやう  
 長嶺隆理事長





P へいわ  
平和  
Peace

## 沖縄国際大学 平和学ゼミ

沖縄戦や基地学び交流

沖縄の人々や社会に大きな傷跡を残した沖縄戦。体験者も少なくなる中、その継承は大きな課題です。沖縄国際大学には沖縄戦やその戦後について深く学ぶ平和学ゼミがあります。地域の戦争を専門的に学べる全国でも数少ないゼミです。

現場で学ぶことを重視して戦跡や資料館を回り、体験者に証言を聞くこともあります。「平和学ゼミ」と名前が付く前の1970年代から、数千人もの人々に話を聞いた実態調査や聞き取りの記録は市町村史や書籍にもなりました。最近では戦後の暮らしや、沖縄戦の記憶の継承に向けて平和教育を研究する学生もいます。

ゼミの学生には学内の自主活動「スマイライフ」に入り、修学旅行生に沖縄戦や基地問題をガイドする人もいます。大学での学びを自主的な活動に発展させて学びを深め、多くの人々に広げて、沖縄の経験を次世代につなげています。

2019年度に3代目の担当教員になりました。歴史資料として残されていない人々の経験や、語っていない・語られていない人たちもいます。過去の人々が何を思っただう行動したのかを解明しながら、私たち自身の現在や未来を考えています。



ゼミの3代目担当教員、秋山道宏さん



P パートナー  
シップ  
Partnership

## OKINAWA SDGs プロジェクト

企業が連携 地域や若者つなぐ

1人や1団体の力は小さくても、集まれば大きな力になります。みんなで地域課題を考え、協力して解決していこうとOKINAWA SDGs プロジェクト(OSP)は結成されました。琉球新報社とうむさんラボが中心になり、59の企業・団体(2022年2月現在)、若者や地域と一緒に、社会を良くする具体的なプロジェクトを生み出そうと活動しています。

国連によると、SDGsを達成するには世界中の国や地域の予算では到底足りず、企業など民間のお金も不足とされています。地域の課題解決につながる仕事をしながら収益を出し、活動を続けるにはどうしたらいいだろうかと世界中が盛り上がる中、沖縄では2020年にOSPが誕生しました。

「サンゴの海を痛める赤土流出問題を防ぐには」「貧困問題に直結する県民所得を上げるために」「二酸化炭素を出さない再生可能エネルギーを地域で増やすには」と幅広いテーマを共に学び、話し合いを続けています。

これまでに、海の保全活動に使われる寄付付き商品、課題解決に動く団体に寄付しやすい仕組み、シングルマザーが働きやすい職場づくりなど、多くのプロジェクトが誕生しました。企画には大学生も参加しており、若い人たちとの活動を今後もっと増やしていきます。



まつもとよしへんしゅうきょうちよう  
松元剛編集局長

